

第2回『高度ICT人材育成研究交流会』開催のご案内

高度ICT人材の育成が喫緊の課題となっている現在、ICT分野の大学・大学院やICT企業等では、高度なスキルの練成を狙いとする実践的な教育・研修の取り組みが活発化しつつあります。

このような現状を踏まえ、高度ICT人材育成の実践方法や在り方などを探るべく、弊社は昨年11月に『高度ICT人材育成研究交流会』を開催し、多くの関係者にご参加頂きました。

今回の『第2回高度ICT人材育成研究交流会』では、産学連携による最新の実践教育の取り組みに関する事例発表とパネルディスカッションを通して、高度ICT人材育成の現状・課題とその解決策、望ましい今後の方向性等について議論、探究致します。

ご多忙とは存じますが、ぜひともご参加下さいますようご案内申し上げます。

開催概要

日時：平成21年3月27日（金） 13:00～16:50

会場：世界貿易センタービル（38階）WTCコンファレンスセンター「フォンテーヌ」

住所 東京都港区浜松町2-4-1 URL <http://www.wtcblgd.co.jp/map/index.html>

交通 JR・東京モノレール浜松町駅直結、地下鉄（浅草線・大江戸線）大門駅直結

- ◆対象者 ICT分野の高等教育機関（大学・大学院、高等専門学校、専修学校）の教育関係者、ICT研修事業者の研修企画・実施担当者、企業の人材育成担当者、ICT人材育成に関わる活動を行っている業界組織等の関係者 他
- ◆参加費 無料（事前登録制）
- ◆定員 150名
- ◆主催 株式会社教育戦略情報研究所 [ESPRIT]
本研究交流会は、総務省の平成20年度請負業務「高度ICT人材育成のための実践的教育手法の効果的な活用方法の在り方等に関する調査研究」の一環として、教育戦略情報研究所が実施するものです。
- ◆協賛 社団法人情報処理学会高度IT人材育成フォーラム

◆PBL教材・eラーニングシステムの無償配付

当日ご参加の方（希望者）には、総務省が平成17年度から19年度にかけて開発した「高度ICT人材育成のためのPBL教材」（以下8種類）及び19年度開発の「eラーニングシステム」（同期型・非同期型の2種類）をCDにて無償配付させていただきます。ご希望の方は当日「申込書」に必要事項をご記入のうえ、会場の受付にお申し込み下さい。

- ・プロジェクトマネージャ育成PBL教材（学習者主導型・講師主導型）
- ・ITアーキテクト育成PBL教材（学習者主導型・講師主導型）
- ・ICT戦略マネジメントPBL教材
- ・ICTシステム構築マネジメントPBL教材
- ・ICT内部統制マネジメントPBL教材
- ・情報セキュリティマネジメントPBL教材

プログラム

※下記のプログラムは都合により変更となる場合があります。予めご了承下さい。

時間	内容
12:45	開場・受付開始
13:00	開会
13:05 ▼ 13:25	<p>●事例発表① PBLによる「プロジェクトマネージャ育成」の実践教育</p> <p>発表者：サイバー創研 代表取締役社長 黒田 幸明 氏</p> <p>サイバー創研は、東京工科大学と連携し、総務省が開発した「プロジェクトマネージャ育成 PBL 教材」をアレンジすると共に、東京工科大学の大学及び大学院生を対象として、アレンジ教材を活用した実践教育を実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>
13:25 ▼ 13:45	<p>●事例発表② PBLによる「ITアーキテクト(システム基盤)育成」の実践教育</p> <p>発表者：NEC ラーニング シニアエキスパート 櫻井 良樹 氏 宇都宮大学 助教 藤井 雅弘 氏</p> <p>KDDIは、NECラーニング、新都心共同大学院大学(宇都宮大学、埼玉大学、茨城大学、群馬大学)、成蹊大学と連携し、総務省が開発した「ITアーキテクト(システム基盤)育成PBL教材」をアレンジすると共に、宇都宮大学・茨城大学の大学院生を対象として、アレンジ教材を活用した実践教育を実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>
13:45 ▼ 14:05	<p>●事例発表③ PBLによる「ICTシステム構築マネージメント」の実践教育</p> <p>発表者：NRI ラーニングネットワーク コンサルタント 鈴木 恭子 氏</p> <p>NRIラーニングネットワークは、静岡大学と連携し、総務省が開発した「ICTシステム構築マネージメント PBL 教材」をアレンジすると共に、社会人・大学生を対象として、アレンジ教材を活用したシステム企画・構築の実践教育を実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>
休憩(14:05～14:10)	
14:10 ▼ 14:30	<p>●事例発表④ PBLによる「ICT内部統制マネージメント」の実践教育</p> <p>発表者：早稲田大学 教授 小尾 敏夫 氏</p> <p>早稲田大学は、総務省が開発した「ICT 内部統制マネージメントPBL教材」をアレンジすると共に、早稲田大学の大学院生を対象に、アレンジ教材を活用した実践教育を実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>
14:30 ▼ 14:50	<p>●事例発表⑤ 非同期型eラーニングシステムを活用した PBL 型 PM 育成の実践教育</p> <p>発表者：富士通ラーニングメディア ナレッジ・コー・クリエイティング開発部 戸田 博人 氏</p> <p>富士通は、富士通ラーニングメディア・東京工業大学と連携し、総務省が開発した「非同期型eラーニングシステム」と「プロジェクトマネージャ育成 PBL 教材」を活用した実践教育を、社会人・東京工業大学の大学院生を対象に実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>
14:50 ▼ 15:10	<p>●事例発表⑥ 同期型eラーニングシステムを活用した PBL 型 ICT 実践教育</p> <p>発表者：産業技術大学院大学 教授 村越 英樹 氏</p> <p>産業技術大学院大学は、総務省が開発した「同期型eラーニングシステム」を活用し、琉球大学・神戸情報大学院大学の大学院生等をリアルタイムで結ぶ形態の PBL による ICT 実践教育を実施しました。本発表では、その具体的な内容や成果、今後の課題等について御講演頂きます。</p>

休憩(15:10~15:20)	
15:20	●パネルディスカッション「これからの高度 ICT 人材育成の在り方を考える」 コーディネータ：石島 辰太郎 氏（産業技術大学院大学 学長）
▼	パネリスト：各事例発表（①～⑥）の発表者
16:50	発表された各事例の成果や知見等に基づき、これからの高度 ICT 人材育成をめぐる課題やその解決に向けた具体的な方策について、来場者の方々を含め、パネルディスカッションをして頂きます。
16:50	閉会

17:00	ICT 人材育成関係者のための懇親会
▼	『高度 ICT 人材育成研究交流会』終了後、ご参加の皆さまの親交を深めて頂くための場として、懇親会を開催させていただきます。詳細は「ICT 人材育成関係者のための懇親会開催のご案内」をご覧ください。
19:00	

『ICT 人材育成関係者のための懇親会』開催のご案内

『高度 ICT 人材育成研究交流会』終了後に、ご参加の皆さまに情報交換や意見交流等をして頂くための場として、別途『ICT 人材育成関係者のための懇親会』（立食形式）を下記のとおり、開催させていただきます。

ご多忙とは存じますが、『高度 ICT 人材育成研究交流会』と共に、ぜひともご参加下さいますようお願い申し上げます。

開催概要

- ◆日時：3月27日（金） 17:00～19:00
- ◆会場：世界貿易センタービル（39階） 東京會館
- ◆参加費：3,000円（領収書を発行いたします）
- ◆主催：株式会社教育戦略情報研究所 [ESPRIT]

お申し込み方法

『高度 ICT 人材育成研究交流会』『ICT 人材育成関係者のための懇親会』へのご参加は、以下のいずれかの方法により、3月23日(月)までにお申し込み下さい。

- ① FAX : 別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込み下さい。
- ② インターネット:以下の URL から Web の入力フォームに必要事項をご入力の上、お手続き下さい。
URL : <http://www.esprit-g.co.jp/>

◆お問い合わせ先

株式会社教育戦略情報研究所「高度 ICT 人材育成研究交流会」事務局

e-mail : ICT-forum@esprit-g.co.jp

TEL : 03-5545-9505

FAX : 03-3583-1855

担 当 : 山畑、猪田

株式会社教育戦略情報研究所内
『高度 ICT 人材育成研究交流会』事務局 宛て

F A X 番 号 : 0 3 - 3 5 8 3 - 1 8 5 5

『高度 ICT 人材育成研究交流会』

参 加 申 込 書

★お二人以上でご参加の場合には、お手数ですが人数分をコピーの上、お申し込み下さい。

氏名		
所属・役職		
住所	〒	
連絡先	eメール	
	電話	
	F A X	

『ICT 人材育成関係者のための懇親会』の参加について
(該当項目に○印をご記入下さい)

◇参加する

◇参加しない